

[ご参考] 2021年助成対象 一覧 (助成期間: 2022年4月1日~2023年3月31日)

チャレンジコース助成 (18件 助成金額: 869万円)

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
○		高校生と創る「オリンピックのまち『まくべつ』de インクルーシブスポーツ」	特定非営利活動法人幕別札内スポーツクラブ	北海道 中川郡 幕別町
○		雷国いわての子供達小学校体育授業でウィンタースポーツスキーを!	特定非営利活動法人いーはとーぶスポーツクラブ	岩手県 盛岡市
	○	Chain of Smiles Project 〜スポーツを通して秋田の豊かさを体感しよう〜	Chain of Smiles Project実行委員会	秋田県 秋田市
	○	チャレンジド・サッカー広場	一般社団法人浦安市サッカー協会	千葉県 浦安市
○		心と体の健康を育む 日本海ビーチスポーツ盛り上げ隊!	一般社団法人にいがたヨガ協会	新潟県 新潟市
	○	知的障がいのある人と楽しむ木曾川SUP	特定非営利活動法人ポパイ	愛知県 名古屋
○		親子で白山陸上競技場を復活しよう。	特定非営利活動法人白山文化・スポーツクラブ	三重県 津市
	○	障害当事者がすすめる精神障害者ソフトバレーの普及のための体験会の開催を通じた共生社会づくりプロジェクト	特定非営利活動法人ピアサポートみえ	三重県 津市
○		「みんなでポッチャを」プロジェクト (〜ポッチャ普及活動〜)	社会福祉法人愛徳福祉会大阪発達総合療育センター	大阪府 大阪市
○		コロナに負けるな! スポーツで家族・地域・世代を繋ごうプロジェクト!	一般社団法人にぎわい夢創りプロジェクト	大阪府 泉佐野市
○		ポッチャ競技をととして障害者と高齢者の交流	特定非営利活動法人シルバーアドバイザー・ネット大阪	大阪府 大阪市
	○	多様な困難を持つ人々が参加できるダイバーシティリーグの開催	特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会	大阪府 大阪市
○		保育園でアクティヴになろう! スポーツプロジェクト	NPO法人明石アクティヴスポーツ	兵庫県 明石市
	○	フロアバレーボールでつくる視覚障害者と地域のコミュニティ	シトラス広島	広島県 広島市
○		ハイブリッド運動クラブの仕組み化とおたっしや万博プロジェクト	一般社団法人香川県運動推進協会	香川県 丸亀市
	○	特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業	NPO法人しいだコミュニティ倶楽部	福岡県 築上郡 築上町
	○	児童デイサービス巡回運動あそびプログラム	一般社団法人サンビスカス沖縄	沖縄県 沖縄市
	○	障がい当事者 (大人) × 大学生ごちゃまぜスポーツプロジェクト 〜障がいのある大人にも運動する機会を〜	一般社団法人琉球スポーツサポート	沖縄県 宜野湾市

チャレンジコース 連続助成 (3件 助成金額: 150万円)

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
	○	都会におけるブラインドサッカーを通じた視覚障害者と健常者のコミュニティづくり〜助けあえる社会をめざして〜 (継続企画)	特定非営利活動法人スフィーダ	東京都 世田谷区
	○	コロナ禍における 障がいのある人が市民スポーツを楽しむ機会を創出する活動〜自主化されたスポーツサークル活動の拠点づくり〜	一般社団法人輝水会	東京都 世田谷区
○		地域で繋がる楽しい暮らし「多世代で楽しむヨガ&ダンス」	ままリズムばばリズム	神奈川県 横浜市

アドバンスコース助成 1年目 (4件 助成金額: 1,100万円 (2年間合計))

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
○		スポーツにおける子どもの安全保護プロジェクト	一般社団法人S.C.P Japan	千葉県 流山市
○		総合型地域スポーツクラブ山梨がお届け 元気なまちづくりで地域活性化	総合型地域スポーツクラブ 山梨	山梨県 中巨摩郡 昭和町
○		MTBのすそ野を白馬から広げていこう、皆が楽しめるMTB文化発信地としての地域づくり	白馬マウンテンバイククラブ	長野県 北安曇郡 白馬村
○		ビーチで体験する、スポーツのノーマライゼーション。	一般社団法人 日本デフビーチバレーボール協会	大分県 大分市

アドバンスコース助成 2年目 (3件 助成金額: 885万円 (2年間合計))

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
	○	義足使用者が日常的に楽しく走るための仕組み及びコミュニティ作り	特定非営利活動法人 ギソクの図書館	東京都 江東区
○		南伊勢町スケートボードパークとスケートボード教室の開設プロジェクト	みなみいせ元気ネット	三重県 度会郡 南伊勢町
	○	辺境四国からタンデム自転車の風を!! 〜四国初解禁障がい者の夢のせて	特定非営利活動法人 タンデム自転車NONちゃん倶楽部	愛媛県 松山市

*アドバンスコース助成2年目の団体は、2020年に助成決定しており、引き続きアドバンスコース2年目として助成を行う。

2022年 スミセイ コミュニティスポーツ 推進助成プログラム

応募要項

〜コミュニティスポーツによる
健やかな暮らしと文化の醸成〜

チャレンジコース: 50万円まで
アドバンスコース: 300万円まで
(助成期間2年間合計)



住友生命健康財団では、2010年に財団設立25周年を記念し、「スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」を開始しました。私たちは、コミュニティスポーツを「地域において様々な人々が、楽しみながら参加・交流し、スポーツを通じて一人ひとりの健やかな暮らしの実現をめざす取り組み」と捉えています。本プログラムでは、スポーツを楽しむ文化が地域に根づき、社会の新しい価値を創り出すような取り組みを応援します。コミュニティスポーツにかかわる全国の皆さまからのご応募をお待ちしています。

応募受付期間 2022年8月22日(月) ~ 9月22日(木) 必着

公益財団法人 住友生命健康財団

住友生命健康財団 検索 <https://skzaidan.or.jp/>

2022年 スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

応募要項

～コミュニティスポーツによる健やかな暮らしと文化の醸成～

応募受付期間 2022年8月22日(月)～9月22日(木) 必着

助成対象プロジェクト

助成の対象となるプロジェクトの枠組みは、次の2種類です。

【一般】 地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながるコミュニティスポーツ

【特定】 心身の障がいや長期療養などにより社会参加が困難な状況にある人と共に楽しめるコミュニティスポーツ

<助成対象プロジェクトの例>

- ・地域の資源(人材、自然、施設など)を活かした取り組み
- ・障がい、長期療養、セクシャルマイノリティ、外国にルーツを持つ当事者や家族も共に楽しめる取り組み
- ・多世代がともに楽しめる取り組み
- ・将来世代にわたって受け継がれるようなスポーツの価値を活かした取り組み(国際的なスポーツ大会から生まれた市民活動や、地域の伝統とスポーツの融合など)
- ・新たな視点や工夫を取り入れるなど独自性のある取り組み

*助成対象プロジェクトには、実践に必要な調査・研究、およびプロジェクトの評価やその普及・発展のための「実践研究」も含まれます。但し、実践を伴わない研究は含まれません。
*応募は、1団体につき1プロジェクトとします。



助成の対象となる団体

以下の要件を満たすものとします。

- 日本国内に活動拠点のある民間の非営利団体(法人格の種類や有無を問わない)で、団体としての活動実績があること。
*団体のホームページ、SNS等で活動の様子が公開されていること。
*アドバンスコースでは原則として応募時点で2年以上の活動実績があること。
- 団体の目的や活動が政治・宗教などに偏っておらず、反社会的勢力とは一切関わっていないこと。

*助成対象となる団体は、スポーツ分野を専門とする団体に限りません。なお、個人は対象になりません。

助成種別

助成対象プロジェクトは、取り組みの視点によって、次の2種類に分けられます。

【チャレンジコース】

地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざすもの

- ・助成期間 2023年4月1日～2024年3月31日(1年間)
- ・助成金額 50万円以下(1年間分) 20件程度

*コミュニティスポーツのチャレンジとその自立・発展に必要な場合には連続して応募することも可能です。(2年間を上限とします)

【アドバンスコース】

地域を超えたコミュニティスポーツの展開や、特定の地域におけるコミュニティスポーツの深化をめざすもの

- ・助成期間 2023年4月1日～2025年3月31日(2年間)
- ・助成金額 300万円以下(2年間合計) 5件程度

*2年目の助成については、初年度の活動の進捗に問題がないこと、並びに、該当年度の当財団における予算承認が完了することが条件となります。

助成金の使途

プロジェクトに関わる費用であって、下記を想定していますが、必要なものはこれ以外も可とします。

- 旅費交通費 : 交通費、宿泊費など
- 謝金 : コーチ謝金、講師料など
- 会議費 : 会場代、会議配布資料のコピー代など
- 賃借料 : 体育施設賃借料、コート賃借料など
- 機材・備品費 : スポーツ用具代(1点30万円以内)
- 広報・通信費 : 広報・情報発信のための通信費、送料など
- 印刷費 : チラシなどのデザイン料、印刷代など
- 消耗品費 : 文具等の購入費など
- 事務局人件費 : プロジェクトに関わる事務局スタッフの人件費、アルバイト代など
- 事務局諸経費 : 事務所の光熱水費、家賃などでプロジェクトに関わる部分としての按分額



応募方法

①必要事項を記入した「応募用紙」と「定款または規約(会則)」をご準備ください。

<応募用紙の入手方法>

【チャレンジコース】と【アドバンスコース】では応募用紙が異なります。各応募用紙は住友生命健康財団のホームページよりダウンロードしてください。

②住友生命健康財団ホームページの「応募受付」ボタンから「応募受付ページ」にアクセスし、応募するコースの「受付フォーム」にお入りください。

③「受付フォーム」にて、応募にあたっての基本情報を入力いただき、①の「応募用紙」と「定款または規約(会則)」をアップロードして、内容を確認の上、送信ください。

*9月22日(木) 必着です。

*郵送・持参・FAXでの応募は受け付けません。

*「受付フォーム」送信後、自動返信で受付メールが届きます。受付メールが届かない場合は、事務局までお問合せ下さい。

*応募内容に記入いただいた個人情報、「公益財団法人住友生命健康財団の個人情報保護に関する基本方針」を遵守し、適切に管理します。

選考方法

財団が委嘱する学識経験者・実践者・財団関係者で構成する選考委員会において、選考の視点に基づき選考します。アドバンスコースについては、提出された応募企画書による選考の他、ヒアリングを行う場合があります。

<選考の視点>

- ①さまざまな人たちが参加し、地域に根ざした活動であること
- ②意欲的で新たな取り組みであること
- ③企画内容(方法、体制、予算など)が目的に照らして十分に検討されており、民間が助成する活動にふさわしいこと

(以下はアドバンスコースのみの選考の視点)

- ④多様な関係者との協力・連携がはかれ、実施可能なマネジメント体制が整っていること
- ⑤他の地域への波及効果やコミュニティスポーツの深まりが期待できること

<住友生命健康財団ホームページ>

助成先取組状況<コミュニティスポーツの現場から>、助成10周年冊子<スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム10年の軌跡>もご覧いただけます。

住友生命健康財団 検索

<https://skzaidan.or.jp/>



なお、このプログラムは、特定非営利活動法人 市民社会創造ファンドの企画・運営協力の元を実施します。

選考結果

選考結果は2023年2月末までに全応募者宛に郵送または電子メールにて通知します。なお、選後総評、助成対象一覧(プロジェクト名、団体名、代表者名、助成金額を記載)、推薦理由などの選考内容は、住友生命健康財団のホームページ、メディア等へのリリースにて公表します。



助成決定後の手続きなど

①助成手続き

助成に関する覚書を締結し、助成を開始します。

②助成金の支払い

2023年3月末日までに助成金(全額)を団体名義の銀行口座に振り込みます。

アドバンスコースは、1年目の助成金を2023年3月末日までに、2年目の助成金を2024年3月末日までに振り込みます。

③報告書の提出

半年毎に中間報告書を、助成期間終了後1カ月以内に完了報告書を提出いただきます。

④贈呈式等への参加

贈呈式やオンライン交流会を開催する場合は、ご参加いただきます。



<応募先・お問い合わせ先>

公益財団法人住友生命健康財団 事務局

(担当: 福田・太田)

〒160-0003

東京都新宿区四谷本塩町4-41 住友生命四谷ビル6階

TEL: 03-5925-8660 FAX: 03-3352-2021

E-mail: sports@am.sumitomolife.co.jp